

「夏休み子ども見学デー」（文部科学省）への参加について

東北大学電気通信研究所
21世紀情報通信研究開発センター

子どもたちに対し業務説明や職場見学などを行うことにより、親子のふれあいを深め、子どもたちが夏休みに広く社会を知る体験活動の機会とし、あわせて業務に対する理解を深めてもらうことを目的として各府省庁で実施された「夏休み子ども見学デー」の一環として行われた文部科学省のプログラムに、電気通信研究所21世紀情報通信研究開発センターも参加しました。

8月23日と24日の両日、文部科学省ビルにおいて「次世代モバイルインターネット端末」、「超小型大容量ハードディスク」、「高機能・低消費電力メモリ」の開発の成果に関してポスター展示を行うとともに、無線LANによるインターネットアクセス環境を用いたテレビ電話（インターネットIPフォンを活用）のデモを、共同研究を行っている日本テレコムとの協力も得て行いました。ノートPCを持ち込み、東京都区内に商用配置されているアクセスポイントを利用することで、事前準備をすることなく、簡便に無線によるインターネットへの接続を実現し、2~3Mビット毎秒の接続速度を得ることができました。デモに用いたソフトウェアは、インターネットにて無料で手に入るものを利用しました。

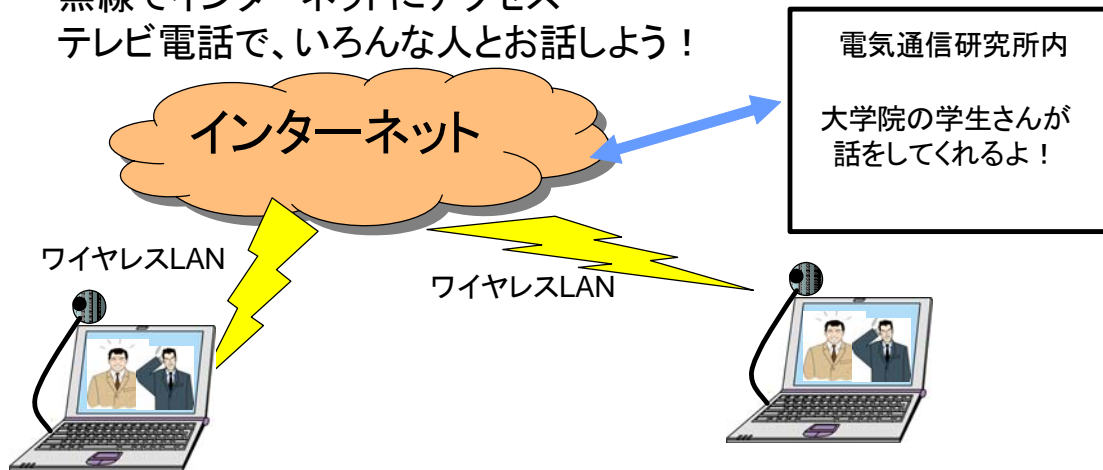
会場においては、「無線で高速にインターネットアクセスができるのはすごい」、「早くどこでもインターネットが利用できるようになって欲しい」という意見が寄せられるなど、我々の行っている開発の社会への波及を期待する声もあり好評を得ました。反面、「難しくてよくわからないけど、すごいですね」など、科学技術の一般への理解が進んでいないという実感も得られ、今回の「子ども見学デー」による情報発信の重要性を再確認した次第です。電気通信研究所21世紀情報通信研究開発センターとしては、今後とも情報発信に努め社会的貢献を果たしていくこととしており、その中で、子どもの科学に対する興味を呼び戻し、理科離れ対策の一助にしていこうとしています。

(デモの概要)

無線LANによるインターネットアクセス環境を用いた
テレビ電話の概念図

RIEC 東北大学電気通信研究所
Research Institute of Electrical Communication
日本テレコム
SoftBank

無線でインターネットにアクセス
テレビ電話で、いろんな人とお話しよう！



(展示風景)



会場の様子。正面奥が通研のスペース



インターネットに接続し、無線で動画の
ダウンロード



無線でのビデオチャットを楽しむ親子